

広報

ひゅうわ

【特集】
合併を
検証する



【巻頭】

平成 25 年度日向市政の基本方針

Contents

4月から始まります。税のコンビニ収納
小倉ヶ浜有料道路は、5月10日から無料に
第19回日向ひよっとこマラソン IN 日向岬 ほか

2013

4

No.695

平成25年4月1日発行

3月定例会において、平成25年度の市政の基本方針と重点施策が発表されました。市政方針とは、市長の市政運営に対する基本的な考え方や、主要な施策について述べたものです。ここでは、平成25年度市政の基本方針を抜粋してお知らせします。

平成25年度

日向市政の基本方針

3つの柱からなる「元気な“日向”未来創造プロジェクト」

市は、本年度も引き続き「総合計画・後期基本計画」の重点プロジェクトである、「雇用の創出」、「防災力・福祉力の向上」、「人材育成」という3つの柱からなる「元気な“日向”未来創造プロジェクト」に重点的に取り組んでいきます。

雇用の創出 本市では、細島工業団地へのリチウムイオン電池関連産業の立地や、美々津の旧リニアモーターカー実験施設で開始されたマグネシウム電池の実証実験など、将来の発展産業として大いに期待されるエネルギー関連産業の集積が進んでいます。さらに、耳川流域の森林林業再生の起爆剤として期待が寄せられている(株)中国木材の立地についても進展が見られるなど、本市のさらなる発展に向けた転換期を迎えているといっても過言ではありません。

今後も、国際物流ターミナルとして着々と整備が進められている重点港湾「細島港」や、開通が目前となった東九州自動車道など、本市の強みである陸海の交通アクセスを最大限に生かした戦略的な取り組みを展開していきます。

防災力・福祉力の向上 国・県より公表された「南海トラフ巨大地震」の被害想定は、本市においても大変厳しいものとなっています。これらの想定や東日本大震災の教訓を踏まえて「地域防災計画」の見直しを急ぐとともに、防災関連施設の計画的な整備を図り、市民の皆さんが安全で安心してくださるまちづくりを推進します。

なお、防災の拠点施設としての市役所庁舎の整備については、市民の皆さんのご意見をお聞きしながら、平成25年度中に基本構想などを取りまとめ、防災・減災そして復旧・復興の司令塔として、また市民サービスの中核的な施設として整備を進めたいと思っています。

また、「福祉力の向上」への取り組みとしては、子育て世代の負担軽減を図るための「乳幼児医療費助成制度」の拡充(対象者を「小学校卒業まで」に拡大)などに取り組むこととしています。

人材育成 「雇用の創出」とも関連しますが、昨年度から、国の「実践型地域雇用創造推進事業」を活用した、企業の即戦力となる人材の育成に取り組んでいます。本年度も、関係機関などと連携を図りながら、目標としている3か年で200人程度の雇用の創出を目指した取り組みを進めていきます。

これらの重点プロジェクトを中心とした重要施策の強力な推進により、私の最大の政策目標であります「元気で活力ある新生日向の創造」の実現に向け、取り組んでまいります。

日向市長 黒木 健二



平成25年度の重点施策および当初予算のポイント、新規事業などの詳しい内容は、次号で特集します。

うすべにに葉はいちはやく萌え出でて
咲かむとすなり山桜花

牧水

【特集】合併を 検証する

平成18年2月の日向市と東郷町の合併から早7年が経過。

平成24年2月には、東郷町地域自治区の設置期間が満了するなど大きな節目を迎えました。

これを機会に、今回の合併による効果や課題について検証し、今後のまちづくりに生かそうと、関係団体や市民の皆さんの代表者20人からなる合併検証委員会が組織されました。

同委員会はこれまで、およそ一年間をかけて検証作業を進めてきましたが、このたび報告書として取りまとめられました。

今月は、その検証結果の内容を、広く市民の皆さんと共有するために、その概要などについて特集します。

日向市と

東郷町の合併を

3つの視点から検証

合併検証委員会では、「行財政面」、「合併協定項目」、「市民アンケート」の3つの視点から検証しました。

第1の視点 「行財政面」

まず、合併により「行財政面」でどのような効果があったのか、合併前の財政効果のシミュレーションと実績の比較などにより検証しました。

①財政効果のシミュレーション
シミュレーションでは、合併後10年間で約129億円の財政効果が見込まれると試算していました。
内訳は、人件費削減で35億円、備品購入費、委託料、使用料など物件費削減により10億円、合わせて45億円の削減額を見込んでいました。

また、合併による財政支援として、約84億円の歳入の増加を見込んでいました。

これは合併特例債の起債可能額67億3千万円と普通交付税4億2千万円の増、特別交付税4億2千万円の増、さらに国・県支出金の8億円を算定していました。
②歳出削減の実績
人件費は、職員数を平成17年度の640人から平成24年度までに52人削減し588人に、また40人いた

●財政シミュレーションによる合併の財政効果
およそ129億円

歳出削減効果	45億円
内訳：人件費	35億円
：物件費	10億円
(備品購入費、委託料、使用料など)	
歳入財政支援効果	84億円
内訳：合併特例債	67億3千万円
(起債可能額上限)	
：普通交付税	4億2千万円
：特別交付税	4億2千万円
：国・県支出金	8億円

物件費の削減は、試算の5倍以上

●物件費の削減額

推計値	実績値
平成18～23年度	平成18～23年度
5億2千万円	26億7千万円

●職員数・特別職・市議会議員数

年度	平成17年度	平成24年度	比較
職員数	640人	588人	▲52人
特別職	6人	3人	▲3人
議員数	40人	22人	▲18人

●職員、特別職、議員給与の削減額

推計値	実績値
平成18～23年度	平成18～23年度
14億2千万円	17億1千万円

議員の数も18人削減し22人としたことで、職員、特別職、議員給与は14億2千万円と推計していた削減額に対して17億1千万円と約3億円上回っています。
また、備品購入費、委託料、使用料などの物件費においては、平成23年度末までに5億2千万円の削減を見込んでいましたが、電算システムの統合などの経費削減に努めた結果、26億7千万円と5倍以上の歳出削減効果がありました。
③歳入財政支援の実績
合併した市町村は、早期の一体化や均衡ある発展を図る必要があることから、国や県からさまざまな財政支援措置が受けられます。
その財政支援には「合併特例債」、「国・県補助金」があります。
合併特例債は、事業費の95%に充てることができ、その元金と利子の70%が後年度に普通交付税として措置される有利な起債(借入)です。
市は、平成23年度末までに総額約35億円の合併特例債を活用しました。主な事業は、日向市駅前広場やステージ、道路などの整備に約15億円、平岩・東郷小中一貫校の整備に約6億円、東郷分遣所の整備や消

防・救急車両の購入などの整備に約3億円、障がい者センターの整備に約1億円などです。
さらに、継続的な地域振興を図るために、合併特例債を活用して総額14億6千万円の基金を積み立てることとしており、平成23年度末現在で8億4千万円を積み立てています。
また合併後の新しいまちづくりを支援するため、国から3億円、県から5億円、合計8億円を限度として補助金が交付され、平成23年度末までに7億6千万円を活用しました。

主な事業は旧市町の電算システム
の統合に約2億5千万円、防災道路
整備に約6千6百万円、小中学校耐
震化に約2千3百万円、水防災対策

強化に約5千2百万円などです。

④行政面での効果
行政面については、計画的な職員数の削減とともに部制の導入や新たな課・係の設置を行うなど、組織体制の見直しが進んでいます。
また、地域医療の中核病院である東郷病院は、平成14年度から経常収支が赤字となり、厳しい経営状態が続いていました。

その後、合併する際に決められた方針に基づき、経営形態の見直しによる効率化や医師を2人から3人体制にするなどの医療体制の充実により、平成21年度から黒字化が図られています。

行財政面に関する検証委員からの意見(抜粋)
財政面では、おおむね合併前のシミュレーションとおりの財政効果が得られていることを確認しました。

行政面では、計画的な人員削減などが進められていますが、民間委託の推進や組織体制の見直しにより、住民サービスの低下を招かない取り組みが推進されていることを確認しました。

しかし、本市の財政状況は、依然として厳しい状況にあるため、引き続き、計画的な行財政改革を継続していくことが必要です。

第2の視点 「合併協定項目」

次に、「合併協定項目」の調整結果から合併の効果を検証しました。
合併協定項目とは、合併に際して調整が必要となる両市町の事務事業など、およそ1400項目において「日向市・東郷町合併協議会」が決定したものです。
事務事業を調整した結果、次のようなサービスの变化がありました。

- ①旧日向市、旧東郷町ともにサービスが向上したものが2項目あり、牧水公園内施設の使用料が520円から420円に下がるなどしました。
- ②旧日向市でサービスが向上したものは10項目あり、健康診断の対象者が39歳以下の女性のみでしたが、「男女とも」に拡充されるなどしました。
- ③旧東郷町でサービスが向上したものは96項目あり、自主防災会連絡協議会へ年間30万円以内の補助、高齢者路線バス定期割引券(悠々バス)購入補助などがありました。
- ④旧日向市でサービスが低下したものは1項目あり、重度心身障がい者

合併特例債の活用と

行財政改革

を対象とした医療費助成に関する自己負担が、全額助成から自己負担1000円となりました。

⑤旧東郷町でサービスが低下したものは35項目あり、固定資産税の税率が1.5割から1.6割になったことなどがあります。

合併協定項目に関する検証委員からの意見(抜粋)

住民サービスが向上したとされる項目が108となった一方で、低下した項目数は36となっており、多くの項目において住民サービスが向上する方向で調整が図られました。

サービスが低下した項目の中には、激変緩和などの措置が講じられたものもあることから、今回の合併により、総体的には住民サービスの向上が図られたものと思われれます。

今後は、協定項目の調整趣旨を尊重しつつも、住民ニーズの的確な把握に努め、新しい事務事業や事業の拡充・見直しなどの取り組みを進めていくことが必要です。

住民サービスは108項目で向上、36項目で低下

意見のなかには、「税の負担が増えた」「特に何の変化もなく、いろいろと考えたこともない」などといったものがありました。

さらに質問3では、文化・スポーツ、教育・子育て、福祉、基盤整備、生活環境など7分野29項目で合併後の状況を5段階評価で聞きました。

「良くなった」「どちらかと言えば良くなった」ものとしては、定期健診、健康相談体制の充実、道の駅などの交流拠点施設整備、ゴミの減量化・リサイクルなどがありました。

「悪くなった」「どちらかと言えば悪くなった」ものには、税・公共料金の負担、市(町)の財政状況、文化・スポーツなど各種団体への支援などがありました。

市民アンケートに関する検証委員からの意見(抜粋)

アンケートの回収率が23.9割と低かったことは、残念な結果でしたが、8割近くの方が合併に関して不満を感じていない結果となったことは、円滑な合併が行われたことの表れだと考えます。

また、三位一体改革による国から地方への税源移譲を、合併の影響によるものと誤解したのでしょうか、「合併したから税金が高くなった」と

第三の視点「市民アンケート」

次に、市民の皆さんは合併をどのように受け止めたのか、アンケートの結果をもとに検証しました。

委員会は、平成24年6月27日から7月20日の間、合併に関する市民の皆さんの意見を把握し、今後のまちづくりの参考にしようと、アンケート調査を実施しました。

無作為に抽出した20歳以上の市民1500人に、郵送でアンケートを依頼。うち返信いただいたのが358通で回収率は23.9割でした。

●回答者の年齢構成

年齢区分	回答人数	割合
20歳代	13人	3.6%
30歳代	40人	11.2%
40歳代	45人	12.6%
50歳代	71人	19.8%
60歳代	62人	17.3%
70歳代以上	114人	31.8%
未回答	13人	3.6%
合計	358人	—

の意見も多く寄せられました。

このようなことから、行政は、さまざまな機会や手法において、情報提供や市民ニーズの把握に努めるとともに、市民においても、一人ひとりが市政参加への意識を向上させていくことが必要であると考えます。

「継続」、「改善」、「連携」市長へ提言

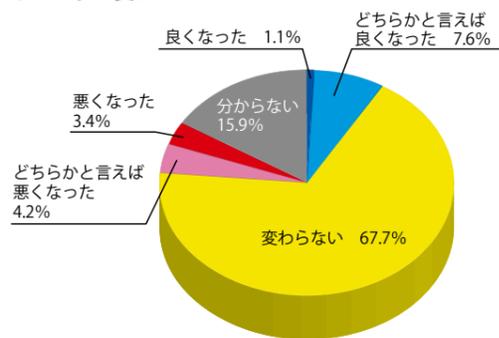
委員会では、本報告書のまとめとして本市が更なる発展を図っていくために、「継続」、「改善」、「連携」というキーワードを用いて、次のような提言を行いました。

「継続」 行財政改革の取り組みを今後も「継続」し、市の財政基盤などの強化と均衡ある発展を図ること。

「改善」 市民の貴重な声を真摯に受け止め、見直すべきものは見直すなどの「改善」を重ねていくこと。

「連携」 市民、市民活動団体、企業、行政などが「連携」を深め、地域の活性化を図ること。

質問1 合併によりあなたの住む地域はどのように変わったか?

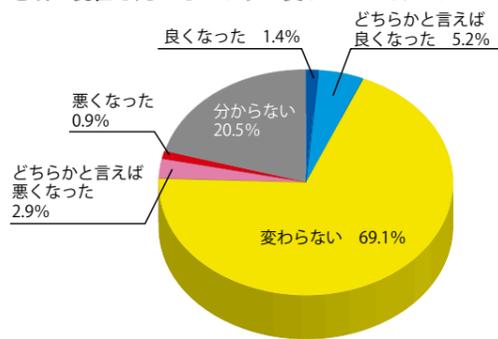


質問1は、「合併によりあなたのお住まいの地域はどのように変わったか」と思われますか」というものです。

一番多かったのは「変わらない」という回答で67.7割。「良くなった」1.1割、「どちらかと言えば良くなった」7.6割、「どちらかと言えば悪くなった」4.2割、「分らない」15.9割、「悪くなった」3.4割、「どちらかと言えば悪くなった」4.2割という結果です。

意見のなかには、「健診対象者の拡大は良かった」「行事などへの参加者が多くなり良かった」「行政面のメリットは大きいと思われるが、地域の変化は全くない」「国の施策とはいえ、合併する必要はなかった」などといったものがありました。

質問2 もし合併していなかったら、あなたの住む地域は現在と比べてどのように変わっていたか?



質問2は、「もし合併していなかった場合、お住まいの地域が現在と比べてどのように変わっていたかと思えますか」というものです。

一番多かったのは「変わらない」という回答で69.1割を占めています。「良くなった」1.4割、「どちらかと言えば良くなった」5.2割、「どちらかと言えば悪くなった」2.9割、「悪くなった」0.9割、「分らない」20.5割という結果でした。

合併検証報告書の配布

報告書の全文は、市ホームページに掲載しているほか、冊子を市役所市民課窓口、東郷総合支所および3支所、日向商工会議所(上町3-15)、東郷町商工会(東郷町山陰丙1602-2)でも希望者に配布しています。

また市内公立公民館、市立図書館などで閲覧することができます。

企画情報課広域連携推進係 (☎内線2214)



自分たちの地域は、自分たちの手で

interview 検証委員会 会長に聞く

今後のまちづくりの一助としていただくよう平成24年12月6日、このたびとりまとめた合併検証報告書を黒木市長に提出しました。市長からは「この報告書を市民の皆さんと共有するとともに、各部局において十分活用し、さらなる市政発展に向けた取り組みを進めていきたい」と力強い言葉をいただきました。

昨今の厳しい社会情勢の下、行政と市民が一体

となって、さまざまな課題に取り組んでいくことの重要性がますます高まっています。

この報告書が、市民の皆さんに地域社会への関心を深めていただく「きっかけ」となることを心から祈念します。日向市合併検証委員会 会長 黒木 茂範



寄せられた意見をまちづくりの参考に

給付が制限されたら大変。家族みんなで確認しましょう

介護保険制度は、40歳以上の人が納める保険料で運営されており、介護が必要になった場合など、1割の自己負担で特別養護老人ホームに入所したりデイサービスなどの介護サービスを利用したりできるものです。

しかし、保険料を納めていない期間があると、一時的に費用の全額を負担しなければいけなくなったり、自己負担の割合が1割から3割になったりするなど給付制限がかかります。給付制限がかかり、本人に支払い能力がない場合には家族の負担増にもつながります。

下の表は、実際に介護サービスを利用する際に、どれくらい費用がかかるかの目安を示したものです。

市は、保険料の未納がある場合、本人へ文書や電話での催告を行っています。介護サービスを利用する時になって初めて未納があることを知る家族の人もいます。

現在、年金から介護保険料が天引きされている人でも、天引きが始まる前の保険料が未納となっている場合があります。

いざ介護が必要となったときに安

「要介護5」と認定された人の費用の目安	介護サービス費用(10割分)	自己負担の金額 ※食費・居住費は別	
		保険料を納めている場合(1割負担)	未納がある場合(3割負担)
特別養護老人ホームなどに入所した場合(1か月あたりの目安)	約30万円	約3万円	約9万円
デイサービスを利用した場合(7~9時間の利用1回分の目安)	約1万円	約1千円	約3千円

心して介護サービスを利用するためにも、保険料の未納がないか家族みんなで確認しましょう。

◎高齢者あんしん課介護保険係
(☎内線2176)

介護保険料の納め忘れはありませんか？

県から市に、事務・権限の一部が委譲

市役所の組織を一部変更しました

平成25年4月1日から、次の事務や権限が県から市に移譲されました。それぞれの担当窓口などは次のとおりです。

●特定非営利活動法人・NPO法人の設立認証、役員の変更などの届出の受理、定款変更の認証、軽微な事項に係る定款変更の届出の受理、事業報告書などの受理、事業報告書などの閲覧または謄写

▼担当窓口：市民協働課市民協働係(☎内線6251)

●保健、福祉、医療 ・未熟児の訪問指導、未熟児養育医療の給付など(詳細は17頁) ▼担当窓口：こども課子育て支援係(☎内線2196)

●育成医療に係る自立支援医療費の支給認定、給付 ▼担当窓口：福祉課障がい福祉係(☎内線2174)

●社会福祉法人の定款の認可、報告徴収および検査、業務停止命令、解散命令 ▼担当窓口：福祉課福祉政策係(☎内線2160)

●水道など ・簡易専用水道に係る給水停止命令、簡易専用水道事業者からの報告徴収、立入検査 ・専用水道の給水開始の届出受理、専用水道の布設工事の設計確認、専用水道設置者からの報告徴収、立入検査 ・小規模受水槽水道の設置者に対する指導など ▼担当窓口：水道課維持係(☎内線2644)

●環境衛生 ・飲用井戸の設置者に対する指導など ▼担当窓口：環境整備課環境公害係(☎内線6310)

詳細については、それぞれ担当課に問い合わせてください。

市役所の組織改編
4月1日から次のとおり、市の組織を一部変更し、業務体制の強化を図りました。

・市庁舎建設に関する業務を統括する「新庁舎建設準備室」を、企画情報課内に設置しました。

・市税や使用料など、市の債権の徴収率向上に向けた取り組みを進めるため、税務課内に「債権管理室」を設置しました。

そのほか、建設課内に「用地係」を設置、東郷総合支所のグループ制を見直し「地域振興係」を設置しました。総合支所内の窓口の場所や業務内容はこれまでと変更ありません。

◎行政経営課行革推進係
(☎内線2216)

日向市東部の観光道路。日知屋から財光寺までの0.4km



▲昭和59年に供用を開始した小倉ヶ浜有料道路は、日向臨海工業地帯関連交通の市街地通過を防ぎ、また、一般国道10号のバイパスとして交通渋滞の緩和を図るとともに生活産業道路の役割を担い、日向市東部の観光道路として産業・文化の活性化に大きく寄与してきました。

・有料道路名 小倉ヶ浜有料道路
・路線名 県道日知屋財光寺線
・区間 日向市大字日知屋から大字財光寺まで
・事業費 11億円
・工期 昭和57年2月～昭和59年3月
・延長 360m ・設計速度 時速60km
・車線数 2車線 ・車線の幅 幅員3.00m
・主な構造物 小倉ヶ浜大橋260m

小倉ヶ浜有料道路は、平成25年5月9日(木)をもって、通行料金の徴収期間が満了を迎えます。

5月10日(金)、午前0時から次とおり、無料開放されますのでお知らせします。

●無料開放する路線名および区間
①主要地方道日知屋財光寺線
②日向市大字日知屋から大字財光寺までの0.4キロ

回数券を払い戻します

●払い戻し場所 小倉ヶ浜有料道路旧管理事務所(財光寺下ヶ浜)

●払い戻し期間 平成25年5月10日

◎小倉ヶ浜有料道路旧管理事務所
☎54・9270、または県道路公社道路課☎0985・25・1588

(金)から8月9日(金)までの3か月間。期間中、土日祝日も受け付けます。なお、受付時間は午前9時から午後4時までです。

●払い戻し方法 現金払い
手続きには「回数券払戻申請書」が必要です。様式は宮崎県道路公社のホームページからもダウンロードできます。手続きの際はあらかじめ残枚数を確認して来所してください。

小倉ヶ浜有料道路は、5月10日から無料に

市税・国保税・介護保険料など、24時間いつでも

平成25年4月から、コンビニエンストア(コンビニ)で、市税などを納付できるようになりました。

市内はもちろん、全国のコンビニで、休日・早朝・夜間を問わず365日24時間、いつでも納付することができます。手数料はかかりませんので、ぜひ利用してください。

●コンビニで納付できる税目など
固定資産税、市県民税、軽自動車税、国民健康保険税、介護保険料

●納付するときの注意
コンビニ納付で利用できる納付書は、平成25年4月1日以降に発行したもので、バーコードの印字があるものです。それ以外は、コンビニで取り扱えることはできません。

また、納付書は納期ごとに1枚1枚分かれていきますので、なくさないよう気をつけてください。

●コンビニ以外の納付場所
金融機関、郵便局などでもこれまでと納付できます。

【金融機関】
宮崎銀行・鹿児島銀行・宮崎太陽銀行・高鍋信用金庫・日向農業協同組合・九州労働金庫の本店および各支店、日向市漁業協同組合、九州内のゆうちょ銀行および郵便局(沖縄県を除く)

【市役所内】 宮崎銀行窓口
●納付についての問い合わせ
・固定資産税、市県民税、軽自動車税については、税務課市税収納係(☎内線2117)
・国民健康保険税については、国民健康保険課保険税係(☎内線2120)

●介護保険料については、高齢者あんしん課介護保険係(☎内線2176)



▲コンビニ納付の取扱期限が過ぎている、あるいはバーコードが印字されていない納付書などは利用できません。

4月から始まります。税の「コンビニ」収納

日向市地域雇用創出協議会

事業推進員 那須 小百合 さん

(江良町：29歳)



日向市地域雇用創出協議会

http://hyuga-job.com/

フェイスブックページも開設中です。

所在地=日知屋8097番地2・日向地区中小企業技能センター内。☎57・4567

本協議会は雇用創出を図るために、市や市内の経済団体などと連携して昨年度、求職者・事業主向けに17セミナーを開催。今年度もたくさんのセミナーを予定しています。さらに就職促進のための合同面接会の開催や、就職関連情報の提供も。詳細はホームページなどで。

まちかどフリートーク

バイオ医薬品の製造工程で、ウイルスを除去するために欠かせない「プラノバ」というフィルターを製造しています。週末はいつも、家族で楽しく充実した時間を。これからも心から妻に感謝し、音心(ねいろ)と琉音(りゅおん)2人が、素直に健やかに育ってほしいと願っています。



旭化成メディカル㈱

甲斐 敏和 さん

(浜町：32歳)

～2つの音に癒される日々～ 趣味はボルダリングやバス釣りなど

このコーナーでは、取材先などで出会った「まちのひと」たちの声をご紹介します。



▲2月14日、伊勢ヶ浜保育園を訪問。英語や音楽を通して、園児たちと交流を深めました。

楽しい英会話教室

下記のとおり、受講者を募集しています。

●日時・場所など

▶初級=5月20日(月)から7月8日(月)の、毎月第2・4月曜日。初回のみ第3月曜日(全5回)。午後2時から3時30分まで、さんびあ2階会議室で。定員15人。

▶中級・上級=5月15日(水)から7月10日(水)の間、毎週水曜日(全9回)。午後7時から8時まで、市障がい者センターあいとびあで。定員は25人。

●受講料 無料

●講師 国際交流員 アール ザッカ

※いずれも定員に達し次第締切。電話で申し込んでください。

☎市民協働課(☎内線6251)

文：カナダから来た第10代日向市国際交流員アール アミン ザッカ(25)

国際交流員

アールの日向見聞録

第二十六話

「日向での楽しい日々を、大好きな音楽とともに」の巻

桜 が咲き始める様子を見る
と、春の訪れを感じますね。

私は、あと4か月で日向市国際交流員としての任期を終え、カナダに帰国することになりました。

これまでの日向での生活を振り返ってみると、貴重な思い出がいっぱいで、とても幸せな気持ちになります。

たくさん思い出の一つひとつには、それぞれ特定の音楽があります。私は、思い出を記憶に焼き付けるために、特定の思い出を特定の歌や曲と結び付けます。

例えば、4年前に札幌市で暮らしていたころ、社交ダンス教室に

催、100人以上が集まった。

この人気ぶりは、さまざまメディアや韓国の新聞などで紹介され、ついにはNHKのおはよう日本でも取り上げられるほどに。

実はその大躍進の陰には、ふるさと日向の同級生たちの協力もある。デザイナー池本康司さん(写真右から2番目)が装飾を

担当、キャラクターをデザインしグッズを制作。ビッグパパ店主、田崎了大さん(左端)は、サラ忍マンらを模したサブレを特別に作りパーティーの参加者へ提供、とてもよろこばれた。

今後の目標は、地元での凱旋交流会。「いろいろな機会を通じて日向を全国へPRするお手伝いができれば」と田口さん。

「日向の皆さんとの交流の場を作っていきたいでござる！ニンニン」出。すでにたくさん仲間が動き、夏の交流会へ向けた準備が着々と進んでいる。

また、どうしても生の「サラ忍マン」に会って応援したいという声に答えて今年2月、2回目のディナーパーティーを開

いた。

福岡市にあるIT系企業の営業として働く田口さんは、仕事の合間に忍者に扮してユニークな写真を撮り、インターネット交流サイト・フェイスブック(FB)に投稿。耐え忍ぶサラリーマンの日常を風刺した姿が共感を呼び多方面に拡散、そして国外へ。アメリカ、ヨーロッパ、ブラジルなどから、次々とFBの友達申請が殺到している。

Human

人がまちをつくる

世のサラリーマンに癒しを。哀愁漂う姿に大きな反響。

拙者、日向出身「サラ忍マン」と申します。





第19回
日向ひょっとこマラソン IN 日向岬
入賞者一覧(種目別)

順位	氏名	市町村	記録
ハーフ男子			
1	竹ノ内賢次	鹿児島県	1:12:39
2	柳井隆志	大分県	1:16:54
3	石谷公平	大分県	1:19:07
ハーフ女子			
1	宇佐見祐子	宮崎市	1:35:00
2	金丸真智子	門川町	1:44:27
3	尾崎多美子	大分県	1:50:38
親子(2km)			
1	富樫魁里 富樫直樹	熊本県	0:08:05
2	今野凱生 今野貴充	福島県	0:08:09
3	中山允 中山秀之	日向市	0:08:13
2km 小学1~3年生男子			
1	川越悠樹	日向市	0:08:00
2	花倉唯斗	日向市	0:08:06
3	那須優稀斗	日向市	0:08:06
2km 小学1~3年生女子			
1	江口瑠	都城市	0:07:58
2	杉山はる	鹿児島県	0:08:01
3	河内瀬桜	日向市	0:08:26
2km 小学4~6年生男子			
1	齋藤瑞希	延岡市	0:06:59
2	那須洸稀	日向市	0:07:06
3	柳かなと	鹿児島県	0:07:21
2km 小学4~6年生女子			
1	椎葉早咲	日向市	0:07:40
2	椎葉愛実	日向市	0:07:41
3	粟田利彩	日向市	0:07:45
5km 男子			
1	蒲生功一	美郷町	0:15:54
2	藤本和秀	熊本県	0:16:26
3	黒木信寿	日向市	0:16:27
5km 女子			
1	吉良花瑠	高鍋町	0:19:47
2	大津亜衣奈	日向市	0:22:14
3	甲斐小夕姫	日向市	0:22:24



19th
日向ひょっとこマラソン
HYUGA HYOTTOKO MARATHON
IN 日向岬
2013.03.10

日向岬の大パノラマ
1583人が満喫

第19回日向ひょっとこマラソンIN日向岬が3月10日(日)、お倉ヶ浜総合公園をスタート・ゴールとするコースで開かれ、25歳、5歳、ハーフマラソン、ひょっとこの部5キロ(走り方は自由、計測あり)なしの5種目に1583人が出場し健脚を競いました。

最大高低差およそ70mの日向岬を周回するハーフマラソン(約21km)の部には452人が出走。起伏の激しいコースに苦しみながらも、それぞれが自己の限界に挑戦しました。好天にも恵まれた今大会。コース沿いにはたくさんの方々が応援に立ち、早春の日向路を颯爽と駆け抜ける選手たちに、大きな声援を送っていました。

サンドーム日向まででは、さまざまな特産品などの販売や、ひょっとこ踊りなどで来場者を歓迎。県内外から参加したたくさんの方たちを心からおもてなしました。

次回は、記念すべき20回目です。節目の年。皆さんも今から少しずつ練習を始めて、来年3月9日(日)に開催予定の第20回記念大会に出場してみたい方が多いのではないでしょうか。



TOPICS

地域にまごころを届けます

赤十字奉仕団の東郷町域団員は3月1日、地域内で一人で暮らす高齢者94人に手作り弁当を配達しました。いつまでも安心して暮らせるまちづくりを目指す活動の一つで、15年前から行っているもの。集まった団員12人が、ばらざしや煮物、白あえ、桜餅など8品が入った彩り豊かなひな祭り弁当を調理。やさしさに包まれたお弁当を、笑顔でうれしそうに受け取っていました。



桃の節句に、日赤奉仕団が愛情弁当を配達

県内初、電子トリアージ実証

日知屋古田町に新築移転した千代田病院敷地内で2月23日、集団災害事故救急救護訓練が実施されました。市内で爆発事故が発生し、多数の負傷者が出たとの想定。負傷程度の情報を伝送する電子トリアージ実証実験もありました。医師や救急隊員はパソコンなどで電子化された情報を確認し治療優先度を判断。その後医療機関へ搬送するなど、関係機関の連携を確認しました。



正確な情報の共有と救助活動の効率化を

新たな人生の第一歩を

人生60年を歩んできた皆さんの節目を祝う還暦式が2月16日、市中央公民館であり181人が参加。久しぶりの再会に感激し、話に花が咲くグループの姿がいたるところに。式では池田元継さん(曾根町)と歌津三枝さん(財光寺)に生涯現役証書が手渡され、澄田登さん(財光寺)が代表して「豊かなまちづくり、人づくりに貢献したい」と第2の人生のスタートに立った思いを述べました。



まだまだ若さいっぱい。これからも活躍を

ひょっとこ踊り講習会

今年30周年を迎える日向ひょっとこ夏祭りを、よりたくさんの人に親んでもらおうと3月16日、市文化交流センターでひょっとこ踊り講習会が開かれました。北海道から鹿児島までの全国各地から200人以上の愛好家が参加。橘ひょっとこ踊り保存会メンバーを講師に、踊りの基本を学びました。夜には交流会もあり、テンテコテンのリズムを絆に親睦を深めていました。



30th日向ひょっとこ夏祭りを盛大に

第3回塩見ウォーク

塩見まちづくり協議会主催の「塩見ウォーク」が3月10日、農村交流館を発着とする約9kmのコースで開かれ、およそ150人が参加しました。コース上の各ポイントではNPO法人「かごしま探検の会」代表理事の東川隆太郎さんによるユニークな史跡解説も。道中、塩見発祥ひょっとこ踊りの披露や、ゴールした後は手打ちそばの振る舞いなどもあり、まち歩きを満喫していました。



塩見をさるいて(歩いて)、塩見を知る

人と人とのつながりや出会い

市文化交流センターで3月7日開かれた人権について考える市民の集い。「でっかい子育ては開ける」と題して、有限会社クロフネカンパニー社長の中村文昭さんが講演しました。自身の母親の子育て方法や師匠の人生についての考え方などを紹介し「人のためになることをする。プラス思考に考える」などと話し、会場に訪れた人は熱心に耳を傾けていました。



他人を尊重し、自分自身を尊重する心を



なぜ 医師が去り、病院がなくなるのか

地域医療フォーラム「まちの病院がなくなる」が3月17日、市中央公民館で開かれ、医療機関や行政関係者のほか、たくさんの方が参加しました。

日向市を取り巻く地域医療の現状や課題をみんなで共有し学び合いながら、解決に向けた取り組みを進めようと昨年12月に発足した「日向市の地域医療を考える会」と、行政、医療機関などが連携して開催したものです。

第1部では日向市東臼杵郡医師会の渡邊康久会長が、「日向市、東臼杵郡の医療の歴史と現状」を報告。まちの医療を守るためには「平日の診療時間内の受診」、「平日夜間の軽症患者は初期救急診療所へ」、「定期検診を受ける」、「かかりつけ医を持ち早めの受診」などを心がけてほしいと呼びかけました。

続いて市消防本部の松木厳生(いづみ)消防課長が「市の救急医療の現状」と題して、救急車の出場件数や市が取り組む映像伝送システム

の運用状況、また昨年度運航を開始した宮崎県ドクターヘリの搬送状況などを報告。救急車の適正利用などについて、理解と協力を求めました。

第2部の基調講演は、城西大学マネジメント総合学科の伊藤友伸(ともとし)教授が「まちの病院がなくなる」と題して講演。全国的な医師不足の現状や医師偏在の危機的状況に陥った背景などをわかりやすく説明しました。

さらに全国の自治体病院における事例などを紹介し、「医療は人が人を行うサービス。現場で医療を行う医師や看護師が、やる気を持ち仕事ができるようにならなければ良い医療は実現できない」、「住民を含め医療に関わるすべての人が、相手の立場に立ち行動することが大事」としたうえで、地域医療の崩壊に歯止めをかけるために、医療従事者と市民、行政が一体となって「まちの医療を守る」取り組みを進めてほしいと話しました。

いっしょに考えよう。まちの医療

2013「扇山」山開き



九州中央山地国定公園内の中心部にある扇山(1,661m)はシヤクナゲ群生地として知られ、白岩山(1,647m)を結ぶ縦断コースとして県内外の登山愛好者に親しまれています。

頂上付近で見ごろを迎えたシヤクナゲが登山者を迎え、久住山、由布岳、祖母ヶ傾連山、大崩山、阿蘇山など、九州の高山をほとんど眺望することができます。

扇山の山開きは、5月12日(日)です。午前9時30分までに、椎葉村扇山松木側登山道入口へ。参加者にはオリジナルワッペンと飲み物をプレゼントします。

あたたかな日差しの中、新緑とシヤクナゲの花が織りなす癒しの風景と大自然の雄大な景観を眺め、爽快感を味わってみませんか。

●椎葉村役場地域振興課商工観光グループ ☎0982・67・3203

広域情報掲示板



●携帯電話で撮影した写真を、左のQRコードでらくらく送信。誕生日の記念に、お子さんのかわいい写真を投稿してみませんか？
●掲載対象=今月1・2・3歳の誕生日を迎えた乳幼児。●投稿方法=Eメール(携帯含む)。子どもの氏名(ふりがな)・住所・年齢、保護者の連絡先、および30文字程度のコメントを記載して、デジタルカメラや携帯電話などで撮影した高画質写真を添付して送信してください。
※投稿多数の場合、掲載できない場合もあります。●送信宛先 public@hyugacity.jp ●総務課秘書広報係(内線2235)



甲斐 颯太 ちゃん
1さい(日知屋)
誕生日おめでとう☆これからも思い出沢山作るうね♪そうちゃん大好き♡



笠原 聡太郎 ちゃん
1さい(比良町)
お誕生日おめでとう！すくすく元気に育ってね♪



黒木 利臣 ちゃん
2さい(寺迫)
2歳の誕生日おめでとう！我が家のヒーローは不滅です!!!



倉本 愛桜 ちゃん
3さい(財光寺)
誕生日おめでとう。これからも元気いっぱいスクスク成長してってね☆



松葉 旺芽 ちゃん
1さい(原町)
1歳おめでとう♪これからも、みんなを笑わせてね☆

4月1日から変わります

未熟児養育医療の窓口が、県から市へ

平成25年4月1日から、未熟児養育医療などの届出窓口が県(保健所)から市(こども課)に変わりました。

届け出が必要な手続きには、次のようなものがあります。

①低体重児の届出

出生時の体重が2500g未満の場合には、保護者が届け出て下さい。早期に適切な養育が行われるよう保護者を支援、また保健師などが訪問し、相談に応じます。

②未熟児養育医療の給付申請

出生時体重が2000g以下または、身体の発達が未熟のまま出生した子どもで、指定医療機関へ入院し、養育を行う必要のある子どもについて、

医療を給付する制度です。所得に応じて、費用の一部負担があります。詳細は問い合わせてください。

こどもの健診いろいろ

乳児前期(3~4か月児)健康診査

市内に住民票のある3か月児に受診票をお送りします。

●内容 個別健診(できるだけ市内の小児科で事前に予約をして受診しましょう)。

乳児後期(7か月児)、1歳6か月児・3歳児健康診査

市内に住民票のある生後7か月児・1歳7か月児・3歳7か月児に健診の案内をお送

ります。●内容 集団健診。身長・体重測定、問診指導、小児科医師・歯科医師の診察および歯科指導(7か月児以外)があります。●場所 市民健康管理センター ※必ず母子健康手帳を持参してください。費用は、無料です。また、健診日に都合が悪い場合や感染症などの疑いのある場合は、こども課まで連絡してください。

☎こども課子育て支援係(☎内線2196)



黒木 大雅 ちゃん
3さい(財光寺)
元気いっぱいいたいちゃん☆これ以上怪我をしないでね♡

広域連携による小児科医の日曜・祝日などの在宅当番医

4月7日 (第1日曜日)	ほうしやまこどもクリニック (延岡市船倉町1-1-7)	☎0982・21・6551
4月14日 (第2日曜日)	大王谷こどもクリニック (日向市亀崎西2-155-1)	☎0982・50・2000
4月21日 (第3日曜日)	松崎医院 (延岡市昭和町1-11-1)	☎0982・21・0001
4月28日 (第4日曜日)	藤本内科小児科医院 (延岡市日の出町1-21-1)	☎0982・34・6195
4月29日 (昭和の日)	赤須内科小児科医院 (延岡市桜園町128)	☎0982・21・2155

- ①小児科の診療時間は、午前9時から午後6時までです。
- ②当番医は変更になる場合もありますので、受診前に必ず電話で確認してください。

日向市初期救急診療所 北町2-10

平日の夜間、急な病気やケガの治療が必要な人のための診療所です。診療対象は小学生以上です。ただし、小学生は受診する前に電話(☎50・1000)してください。

- 診療時間 平日の夜間、午後7時30分から午後9時30分まで(受付=午後7時15分から)。
- 診療科 内科・外科

延岡市夜間急病センター

延岡市出北6-1621(延岡市医師会病院となり) 小児の夜間の急な病気やケガに対して、延岡・日向地区の小児科医が協力して、治療にあたっています。

- 診療時間 午後7時30分から午後11時まで。
- 診療科 内科・小児科(毎日)、外科(月~金)
- ☎0982・21・9999

小さな笑顔は未来の力 みんなで育てよう "ひゅうがっ子"

日向市「子育て応援宣言」

あらかじめの登録が必要!

ひとり親家庭などの医療費助成制度

ひとり親家庭などの人が病気やケガをしたとき、安心して病院などを受診できるように医療費の自己負担分の一部を助成する医療費助成制度があります。

●助成対象者

18歳に達した年度末までの児童(障がいのある児童は20歳未満)を監護しているひとり親家庭の親とその児童、父母のいない児童。※所得制限があります。

●助成額

保険診療分にかかる医療費から月額1000円を差し引いた金額(100円未満切り捨て)。

●申請方法

診療を受けた月から1年以内に、こども課窓口で申請してください。

助成を受けるには、事前の資格登録手続きが必要です。

●登録手続きに必要なもの

- ・健康保険証
- ・印鑑
- ・申請者の預金通帳(振込口座の確認のため)
- ・その他、児童扶養手当認定請求に準ずる書類

不明な点があったら、気軽に問い合わせてください。

●こども課こども福祉係

(☎内線2163)



interview

ひとり親世帯を応援します

母子自立支援員 高木 京子さん
内在住の母子寡婦家庭で構成する日向市母子会は、現在、会員約200人。ボーリング大会やクリスマス会などの開催や、ボランティア活動をするなど、年間を通じて、会員相互の親睦を図っています。また、子どもの修学資金をはじめとした母子・寡婦福祉資金貸付も行っています。私たち母子会はひとり親世帯を応援しています。ひとりで悩まず相談してくださいね。こども課母子自立支援員の高木まで、お気軽にお電話を。☎52・2111(☎内線2173)

ブックスタート展開中

本に親しみ、こころすこやかに



☎市立図書館 ☎54・1919(春原町1-47)
http://www.lib.city.hyuga.miyazaki.jp
●開館日および時間
火曜~金曜日=午前9時~午後6時30分
土、日、祝日=午前9時~午後5時
●4月の休館日(1日と毎週月曜日は休館)
1日 8日 15日 22日 29日

ブックスタートとは、1992年にイギリス・パージンガムで始まった赤ちゃんの本を通して楽しい時間を分かちあうことを応援する運動です。7か月児健診のときに、絵本や子育てアドバイス冊子などが入ったブックスタートバッグを配布します。

- 親子で「絵本の読み聞かせ」
- 4月のおはなし会
- 場所 市立図書館
- 乳幼児向け(毎週木曜日)
- 4日、11日、18日、25日の午前10時30分から10時50分まで。
- 幼児向け(毎週水曜日)
- 3日、10日、17日、24日の午後3時30分から4時まで。
- 小学生向け(毎週土曜日)
- 6日、13日、20日、27日の午前11時から11時30分まで。

こわれたおもちゃを修理+おもちゃ病院ひゅうが

●日時 4月13日(土)、午後1時から4時(受付は2時まで)、市中央公民館で。修理は無料ですが、部品・材料代は自己負担です。
☎同事務局 ☎66・0570(高橋)

おすすめの本 ~ Recommended Books ~

廃校が図書館になった



百二十五年の歴史を持つ母校・鯉川小学校の廃校を機に、橋本五郎さんが故郷・秋田県三種町に寄付した2万冊の書物。地域の人々が力を合わせて、その書物を整理し、廃校を「橋本五郎文庫」に生まれ変わらせるまでの全記録。

北羽新報社編集局報道部/編 藤原書店

地形図の楽しい読み方



地形図の作られ方、それを実現するためのデフォルメの手法、地形・地物を表現するための思想など、不思議でおもしろい地図の世界をわかりやすく紹介。『山と渓谷』の連載を加筆修正して書籍化。

今尾恵介/著 山と渓谷社

メロディ

弾いてくれる人待ち続けるピアノの前に、ある日小さな女の子が現れました。「メロディ」と名付けたピアノを、女の子はいつも弾いていたのですが…。世界中のピアノと、ピアノを愛するすべての人に贈る絵本。



くすのきしげのり/さく ヤマハミュージックメディア



募集
Recruit

ひゅうが くらしの情報 INFORMATION

～市の内部評価は適切か～ 市行政評価委員会委員募集

市の事業について、市職員による内部評価が適正に行われているかを第三者の視点でチェックする、日向市行政評価委員会委員を広く市民から募集します。

- 任期 平成27年3月31日まで。
- 会議の開催予定 6月から12月までの10回程度(1回3時間程度)
- 募集人員 3人
- 応募資格 市内に在住または勤務する人で、市の職員および議員でない人。
- 応募方法 行政経営課などで配布する指定の応募用紙を、直接持参、または郵送、ファクシミリ、電子メールで。
- 募集締切 4月30日(火)
- 選任方法 応募者が募集人員を越えた場合は、書類審査(作文、男女比率、年齢構成など)により選考。
- 報償費、旅費 会議出席の際は、市の規定による報償費・旅費を支給。

行政経営課行政経営係
(内線☎2217) ☎52・1455
gyousei@hyugacity.jp

「農林水産業振興計画」の見直し検討委員会委員を募集

農林水産業の現状に即した施策を計画的に推進する「日向市農林水産業振興計画」を見直すにあたり、消費者の立場で意見を述べる検討委員会委員を、次のとおり募集します。

- 会議の開催予定 4回程度(1回2時間程度)
- 募集人員 4人(農業分野2人、林業分野1人、水産分野1人)
- 応募資格 市内に在住または勤務する人で、市の職員および議員でない人。
- 応募方法 希望する分野に対する400字程度の作文を直接持参、または郵送、ファクシミリ、電子メールで。
- 応募締切 4月26日(金)まで
- 報償費、旅費 会議出席の際は、市の規定による報償費・旅費を支給。
- 農業水産課農業振興係
☎52・1442 ☎52・0250
nousui@hyugacity.jp

～日向の魅力でPR～ 日向ひまわりレディを募集

日向市観光協会は、日向市を明るく元気にPRしてくれる2013日向ひまわりレディを募集中です。

市内や県内をはじめ、全国各地で開かれる各種イベントなどにも参加していただきます。

- 応募資格 8月1日現在で満18歳以上の未婚女性。協会が依頼する各種行事に1年間支障なく参加できる人。
- 募集定員 若干名
- 応募締切 5月12日(日)
- 特典 選ばれた人には賞金10万円を贈呈。賞状とトロフィーを授与し、制服一式を支給します。
- 任期 8月1日から翌年7月31日までの1年間。
- 応募方法 既定の応募用紙に必要事項を記入し、履歴書と観光に関する800字程度の作文を添えて応募。
- 一般社団法人日向市観光協会事務局 ☎55・0235

読者アンケートにご協力 ～抽選でプレゼントも～

市民の皆さんに市政やまちの動きなどを、よりわかりやすく伝え、より親んでもらえるような広報紙をつくらうと、読者アンケートを企画しました。

読者の皆さんの率直な意見、感想、要望などを左のハガキで、ぜひ聞かせてください。寄せられた意見などを、今後の紙面づくりに役立てます。

なお、郵送のほか、市役所、支所窓口などでも受け付けています。たくさん

ふりがな _____

氏名 _____

性別 / 男・女 年齢 / 歳 _____

住所

電話番号 () - _____

希望するプレゼント(抽選で各10人)

お舟出の湯「ベア入浴券1000円相当」

道の駅とうごう「お食事券1000円分」

海の駅ほそしま「お食事券1000円分」

日向市役所 ☎52・2111(代) 東郷総合支所 ☎69・2111(代)
ホームページで最新情報をチェック! ☎http://www.city.hyuga.miyazaki.jp/

皆さんからのご意見、ご感想をお待ちしています。

総務課秘書広報係(☎内線2235)

環境保全型農業の認定を受けませんか?

日向市環境保全型農業推進協議会は、平成25年度環境保全型農業認定の希望者を募集します。有機肥料を利用して、減農薬、減化学肥料野菜などの栽培に取り組んでみませんか?

- 募集締切 4月26日(金)
- 農業基準 栽培する作物によって基準が異なります。
- 申請手続 事務局に備える認証申請書、年間栽培計画書を提出。※書類審査や現地調査し認証。
- 認証特典 認証を受けたほ場へ、堆肥などの資材費用の一部を補助。また認証シールを貼って道の駅「とうごう」などで販売できます。新規販売者は別途登録が必要です。
- 同協議会事務局＝農業水産課農業振興係(内線☎2313)

福岡、東京、大阪の3会場で 宮崎県ふるさと就職説明会

人材を求める企業と、県内で就職を希望するU・Iターン希望者、新規卒予定者の皆さんの出会いの場として、県は次の3会場で宮崎県ふるさと就職説明会を開きます。

- 参加は無料、事前申込も不要です。
- 福岡会場 5月11日(土)、天神ビル(福岡市中央区)。
- 東京会場 5月18日(土)、都道府県会館(千代田区平河町)。
- 大阪会場 5月25日(土)、大阪駅前第3ビル(大阪市北区)。
- ※いずれの会場も、午後1時から4時まで(受付は正午から)。参加企業など、詳しいことは県庁ホームページなどで

☎は問い合わせ先、㊦は申請、または申し込み先の略です。

確認してください。

県地域雇用対策室☎0985・26・7105

新しいことに挑戦! ひむかYOUゆうクラブ

総合型地域スポーツクラブ「ひむかYOUゆうクラブ」は、平成25年度会員を募集しています。

お気に入りのスポーツ・生涯学習プログラムを見つけて生きがいづくり、仲間づくりに参加してみませんか。

- 会員登録のメリット 会員になるとすべてのサークルにいつでも無料で参加できます。また、教室・大会などに会員料金で参加できます。
- 会員登録料 4,000円(年度登録＝入会から平成26年3月まで)。入会金は不要です。
- ▶サークル＝ミニバレー、バドミントン、卓球、ソフトテニス、グラウンド・ゴルフ、健康空手、囲碁、ミニテニス、剣の舞、カラオケ ▶教室＝エアロビクス、フォークダンス、健康体操、社交ダンス(初級・中級)、フラダンス、小学生ソフトテニス ▶大会＝男女混合ミニバレー、グラウンド・ゴルフ、バドミントン、ミニテニス、囲碁
- ▶市受託事業＝キッズ体力向上プロジェクト、バリアフリースポーツ教室
- 事務局(日向市体育協会事務局内) ☎080・5260・1515
himukayouyou@gmail.com

ミニバレーボール教室 5月中全4回～参加無料～

ゴムでできた軟らかな弾力性のあるボールを使い、4人ずつでプレーするミニバレーボール。ネットも低いので、誰でも気軽に参加でき、運動不足の解消や健康増進に最適です。次のとおり参加者を募集しています。

- 日時 5月10日、17日、24日、31日、

毎週金曜(全4回)。午後7時30分から9時30分まで、市体育センターで。

- 募集定員 20歳以上の男女50人
- 申込方法 4月30日(火)までに電話、ファクシミリまたは電子メールで。
- 文化スポーツ課スポーツ振興係
☎53・4791 ☎56・0018
bunka@hyugacity.jp

地域教育力活性化推進事業 受託団体を募集します

市は、地域の大人と子どもによる自然体験や伝統文化伝承活動など、世代間交流を通し、子どもたちがたくましく生きる力を育む活動を推進する、地域教育力活性化推進事業受託団体を募集します。委託する団体には、10万円を上限として、活動に対する委託料を支払います。

- 申込締切 5月9日(木)
- 提出書類 事業計画書、収支予算書 ※申込多数の場合や、事業内容の審査結果によっては、委託できないこともあります。
- 生涯学習課生涯学習係(内線☎6242)

自主学習グループ(自主学級) ～開設者を募集～

市は、下記の分野において10人以上の仲間同士が集い、自主的に自己研鑽、地域づくりに繋がる学習や創作活動を実践する自主学習グループを募集します。年間を通じた月一回程度の活動が要件です。

- 補助制度や定数がありますので、詳しくは問い合わせてください。
- 対象分野 ・家庭教育学級＝各小中学校、幼稚園等単位の保護者など。
- ・高齢者学級＝地域のおおむね65才以上のグループ
- ・女性学級＝地域の女性グループ。
- 生涯学習課生涯学習係(内線☎6242)

post card

8838555

50円切手を貼ってポストに投函してください

日向市本町10番5号
日向市役所 総務課 秘書広報係

Hyuga City Public Relations
広報ひゅうが 読者アンケート

などの戸籍 関連届の受領・死体火葬許可申請、東郷霊苑使用許可申請の受け取りなど。
 ●細島支所 ☎52・2601、岩脇支所 ☎57・1001、美々津支所 ☎58・1101

業務に関する今後の問い合わせは、下記の事務所へお願いします。
 ●西日本高速道路(株)九州支社延岡高速道路事務所 ☎0982・63・2257

4月21日(日) 牧水の里のつつじ祭り

7種、およそ3万本のつつじが、色鮮やかに咲き誇る東郷町坪谷の「牧水公園」。おだやかな春のひとつき、家族みんなで牧水の里のつつじ祭りを楽しみませんか？ たくさんの皆さんの来場をお待ちしています。
 ●日時 4月21日(日)、午前10時から午後3時まで(雨天中止)。
 ●内容 各種演芸ステージ、花馬車、乗馬体験、野点、テント村、ガーデニング講習会など。

※ガーデニング講習会参加料は1,500円。定員は先着70人です。希望する人は、電話で申し込んでください。

定員に達しない場合には、当日受け付けもあります。

●同実行委員会事務局＝東郷総合支所 東郷地域振興課 ☎69・3900

借りられる本の冊数が5冊から10冊に増えました

市民の皆さんの読書活動の推進やブックスタート運動のさらなる充実を図るため、これまで5冊までだった、本の絵本、雑誌などの図書館資料の館外貸出冊数上限を変更しました。

4月からは、利用者1人につき10冊まで貸し出すことができるようになりましたので、ぜひ利用してください。

●市立図書館 ☎54・1919

東九州自動車道用地事務所は3月末をもって閉所しました

宮崎県東九州自動車道用地事務所は、西日本高速道路株式会社から用地事務を受託してきましたが、平成25年3月31日をもって閉所しました。

お知らせ
Info

7月から3支所の戸籍届などの受付時間に変更になります

細島・岩脇・美々津支所では現在、休日・時間外における出生届や死亡届などの受領業務などについて、警備員が対応しています。

7月1日から、3支所の休日・時間外の警備体制が一部機械警備となることから、下記の受領業務の取扱時間が、平日の午前8時30分から午後5時15分までに変更されます。

なお、休日・時間外は、これまでどおり、市役所本庁舎警備員室、東郷総合支所警備員室で手続きすることができます。

●受付内容 出生届、死亡届、婚姻届

みんなの人権110番

〔全国共通 人権相談ダイヤル〕
☎0570・003・110

平日、午前8時30分から午後5時15分まで。秘密は厳守。法務局職員、または人権擁護委員が相談に応じます。

行政相談

●4月17日(水)、午前10時から午後3時まで、社会福祉協議会東郷支所で。

●毎月第2、第3金曜日、午前9時30分から正午まで、市文化交流センター内男女共同参画社会づくり推進ルーム「さんびあ」でも受付中。☎55・1660

法律相談(☎要予約)

●4月17日(水)、午前9時30分から午後4時30分まで、市中央公民館で。市民課市民相談係(☎内線2140)へ事前予約を。
 司法書士会日向支部、また宮崎県弁護士会が開く相談会もあります。詳細は問い合わせを。

障がい者・難病者相談

●毎週土曜日、午前10時から正午まで、市障がい者センター「あ」とびあ」で。☎52・5434

介護保険の説明会

●4月12日(金)、午前10時から11時まで、健康管理センターで。

女性相談

電話または面接相談。月、火、木、金曜日の午後1時から4時まで、「さんびあ」で。☎55・1660

出張年金相談(完全予約制)

●4月25日(木)、午前10時から午後3時まで、市中央公民館で。市民課国民年金係(☎内線2132)、または延岡年金事務所 ☎0982・21・5424 へ事前予約を。相談者は年金手帳を持参してください。

こころの健康相談(☎要予約)

ひとりで悩まず、まずは誰かに相談してみませんか？ 精神の病気、こころの健康に関して、精神科医と保健師が相談に応じます。事前予約が必要です。

●4月16日(火)、午後1時から午後3時30分まで、日向保健所で。予約は☎52・5101へ。

中小企業の無料経営相談会

市内のがんばる中小企業を応援。勸業産業支援財団の専門員が経営をアドバイスします。
 ●4月8日(月)、午前10時から午後3時まで、日向地区中小企業技能センターで。相談は無料です。商工港湾課商工振興係(☎内線2636)へ事前予約を。

くらしの相談日

まずは気軽に相談してください。

くらしのはてな？に
やさしく答えます

Q. 平成25年度の国民年金保険料はいくらですか？

A. 保険料は、物価変動率や実質賃金変動率などから保険料改定率を出し、これを平成16年の改正で決められた額(25年度＝月額15,820円)に乗じて決まります。平成25年度の保険料は、24年度より60円上がり、月額15,040円になりました。保険料は定額で全国一律です。保険料の納付には、前納した期間に応じて割引かれる前納制度や、納付書で納めるより有利な口座振替制度もあります。

また、保険料を400円上乗せして納めると、老齢基礎年金に付加年金(200円×付加保険料納付月数)が加算される付加年金制度があります。

ただし、国民年金基金に加入している人は付加保険料を納めることはできません。納めることが困難な場合は、免除や納付猶予制度もありますが、所得制限などの一定の条件があります。

●市民課国民年金係(☎内線2132)

地域安全掲示板

4月は交通・地域安全運動期間！

安全に登下校できるよう、新入児童全員に県北生コン協同組合から防犯ブザーの寄贈がありました。日ごろからPTAや地域ボランティア、警察、交通指導員、青少年指導員などが見守り活動をして、子どもたちの安全を支えています。交通ルールや不審者対策について、家庭でも話し合う習慣を。

●市民課市民相談係(☎内線2140)

2月中の交通事故件数

人身	物損	()内は 対前年比
42(-9)	89(-48)	

納税は納期内に！

4月の納税

固定資産税 1期

納付期限 4月30日(火)
口座振替 4月25日(月)

税目	4月	5月	6月
市県民税			1期
軽自動車税		軽自	
固定資産税	1期		
国民健康保険税			1期
介護保険料1号			1期

119 Call

林野火災(山火事)を防止しましょう

例年、春先の空気が乾燥する中で、たき火やたばこ、火入れなどを原因とする林野火災が全国各地で多発。昨年3月から4月にかけて1000件を超える火災が発生しています。春の行楽シーズンを迎えるにあたり、たき火の後始末の徹底、たばこの投げ捨てはしないなど、火の用心をおねがいます。

●日向市消防本部 ☎52・2840

2月中の出動件数

救急	火災	救助
227	4	4

from Editor's room 編集後記

▶寒い冬が終わり、とてもさわやかな朝を迎えるようになりました。さあ、待ちに待ったアウトドアの季節。毎週とは言いませんが、月に一回くらいは出かけたいものです。さっそくサンパークキャンプ場へ予約してみよう！

▶市の花の一つ「山桜」。春を彩る姿は豊かな自然の象徴。花の色が白く、葉と花がほとんど同時に芽吹く。牧水がこよなく愛した冠岳のあざやかな山桜群。見ごろはほんの数日間。黄砂なのかPM2.5なのか。かすむ視界が残念。



●日サンパーク温泉提供のお舟出の湯ペア入浴券10組、道の駅とうごう内物産館「詩季彩」提供のお食事券10枚、海の駅「ほそしま」提供のお食事券10枚、それぞれ抽選で計30人にプレゼント。
 締切は、5月7日(火)
 (当日消印有効です)

広報ひゅうが読者アンケート

①あなたが毎月最も読むコーナーは？			
②新設して欲しいコーナーは？			
③掲載してほしい特集記事などは？			
④文字の大きさは？	○で囲んでください。	大きい	小さい ちょうど良い

広報ひゅうがを読んだ率直な感想、意見、要望など、何でも好きなことを書いてください。



人のうごき 平成25年3月1日現在

人口	62,527人	(-9)
男	29,650人	(-6)
女	32,877人	(-3)
世帯数	25,150世帯	(8)

※数値は、平成22年国勢調査をもとに算出した推計人口(現住人口)。外国人登録者を含む。()内は、対前月比。

2月中異動	転入	転出	出生	死亡
単位:人	136	147	52	50



表紙のよこ顔

朝起きたら、まず軒先に黄色い旗を。外出するときもそのまま。「旗が立ってない。立ったまま。もしかして…」。住民相互の目配せが、誰もが安心して暮らせる地域づくりにつながる。東郷まちづくり協議会が、福瀬・田野地区全世帯をモデルに取り組む黄色い旗運動。「自分たちのまちは、自分たちが守る」。黄色い旗は東郷のまちが元気なしるしです。

つばくらめちちと飛び交ひ阿武隈の岸の桃の花いま盛りなり

牧水

〔今月の歌の意味〕

つばめがちちと鳴きながら飛びか
い、阿武隈川の岸辺は桃の花がいま
盛りである。

〔歌の鑑賞〕

大正5年3月末に始まった牧水の東北地方の旅行は、宮城、岩手、青森、秋田を経て、最後は福島を訪れた。それは4月の終わり、東北の遅い春の美しさに感動していることは、この歌の明るく洗刺(はつらつ)とした調べにもよく出ている。青森などで深く重たい雪に出会った体験があるから、より阿武隈の春は印象的だった。

伊藤一彦(若山牧水記念文学館長)著
牧水かるた百首鑑賞「命の碎片」より



「第3回青の国
若山牧水短歌大会」
作品を募集します



- ▼ 募集期間
4月1日(月)から5月31日(金)まで。
- ▼ 部門および応募規定
- 一般の部
- ・ 全国から応募できます。
- ・ 自由題および題詠に、それぞれ一

人一首ずつ応募できます。

・ 題詠には必ず『向』の文字を入れて詠んでください。

● 小学生・中学生・高校生の部

・ 県内の児童生徒が応募できます。

・ 一人一首で、題は自由です。

▼ 各部門共通事項

・ 自作で未発表の短歌に限ります。

・ 応募後の作品の訂正、差し替えはできません。

・ 同一作品、酷似作品が先行して発表されていた場合、入賞を辞退していただくことがあります。

・ 作品に関する一切の権利は、日向市に帰属します。

・ 応募の際に記入された氏名などは、報道発表するほか、入賞作品集やホームページへ掲載します。

▼ 応募方法

● 郵送による場合

応募用紙または官製はがきに作品
(自由題・題詠の別を明記)、住所、
氏名(ふりがな)、電話番号、(学生

の場合は、学校名、学年)を記入し
て郵送してください。

学校単位でまとめて応募する場
合には、専用紙に必要な事項を記入し
て郵送してください。

● 電子メールによる場合

応募先メールアドレス宛、郵送の
場合と同じ内容を入力し送信を。ホ
ームページから、専用紙など(個
人用・学校用)が入手できます。

● 直接持ち込みによる応募

若山牧水記念文学館または市文化
スポーツ課で受け付けます。フアク
シミリによる応募はできません。

▼ 応募および問い合わせ

☎ 883-0211

日向市東郷町坪谷1271番地
若山牧水記念文学館

青の国若山牧水短歌大会係

☎ 0982-68-9511

(通常、月曜日が休館)

http://www.bokusui.jp/
aonokuni.tanka@gmail.com

日向市ホームページ

http://www.city.hyugamiyazaki.jp/